

2021年度第3四半期 業績の概要

2022年2月15日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

【参考】 グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ

保険料等収入


4兆230億円

〔 対20年4-12月 +5.9% / 対19年4-12月 ▲6.0% 〕

- コロナ禍で大幅減少していた反動を受け、対20年4-12月で増収
- 対19年4-12月では、海外金利が低位で推移したため、外貨建保険が減少しマイナス

基礎利益


5,854 億円

〔 対20年4-12月 +30.7% / 対19年4-12月 +24.1% 〕

- 国内外の企業業績回復による株式配当金および投信分配金の増加を主因に増益

新契約年換算保険料


2,783億円

〔 対20年4-12月 +29.9% / 対19年4-12月 ▲10.4% 〕

- 営業職員チャネルや銀行窓販チャネルは、対19年4-12月で減少となっており、コロナ禍前の水準には回復していない状況

保有年換算保険料


4兆5,208億円

〔 対21年3月末 +0.3% 〕

- 海外金利上昇に伴うニッセイ・ウェルス生命の米ドル建商品の販売増を主因に増加

業績見通し

増収・増益

〔 2021年度上半期決算時の見通し 〕

- 保険料等収入は、ニッセイ・ウェルス生命における外貨建商品の販売増加により、増収見込み
- 基礎利益は、利差益の増加を主因に増益見込み

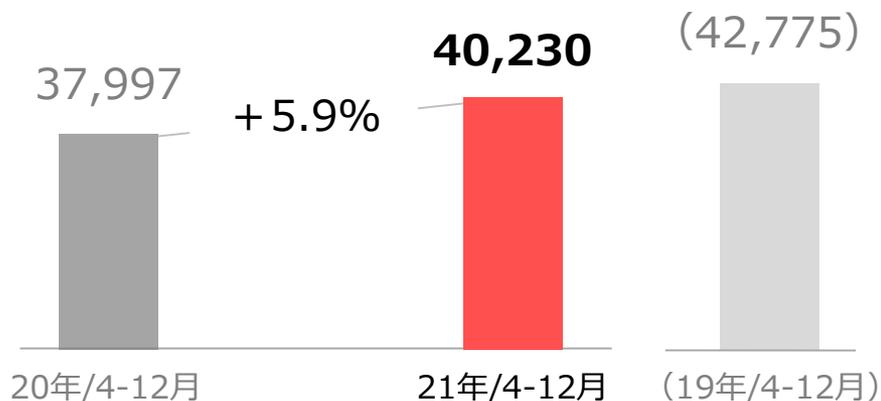
個人保険・個人年金保険
国内生命保険

グループ

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入

(単位：億円)



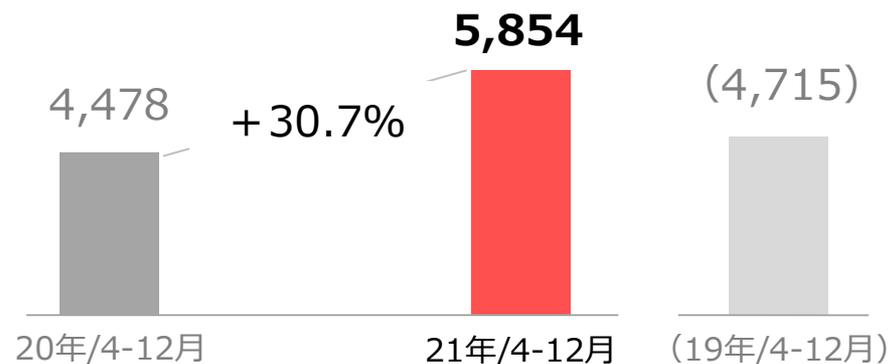
	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月
保険料等収入	40,230	+5.9%	▲6.0%
日本生命	31,912	+2.6%	▲5.3%
大樹生命	3,901	+15.6%	▲22.3%
ニッセイ・ウェルス生命	2,720	+35.7%	+13.3%
はなさく生命	95	+110.4%	*
MLC	1,343	+12.2%	+0.0%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

* 対比数値が僅少により、1000%を超える増加率

基礎利益

(単位：億円)



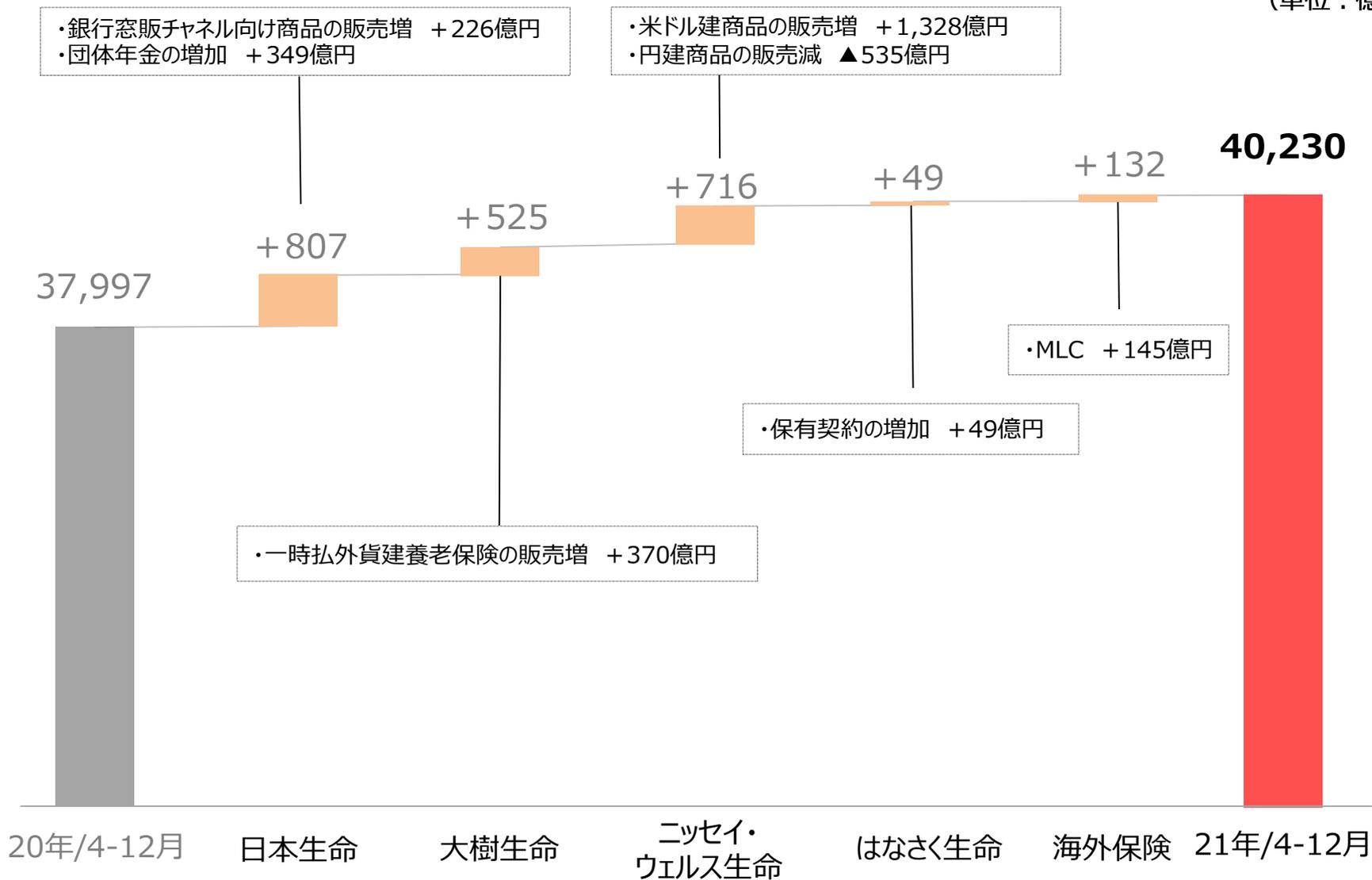
	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月
基礎利益	5,854	+30.7%	+24.1%
日本生命	5,349	+26.3%	+24.6%
大樹生命	263	+62.3%	+21.6%
ニッセイ・ウェルス生命	253	+47.4%	+28.5%
はなさく生命	▲132	▲24.7%	▲132.8%
MLC	1	*	*

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

* 前年数値、前々年数値がマイナス、当年数値がプラスにより、増加率算出不可

③ 保険料等収入

(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

④ 基礎利益

(単位：億円)

・利差益の増加（企業業績の回復による株式配当金および投信分配金の増加等）+1,341億円

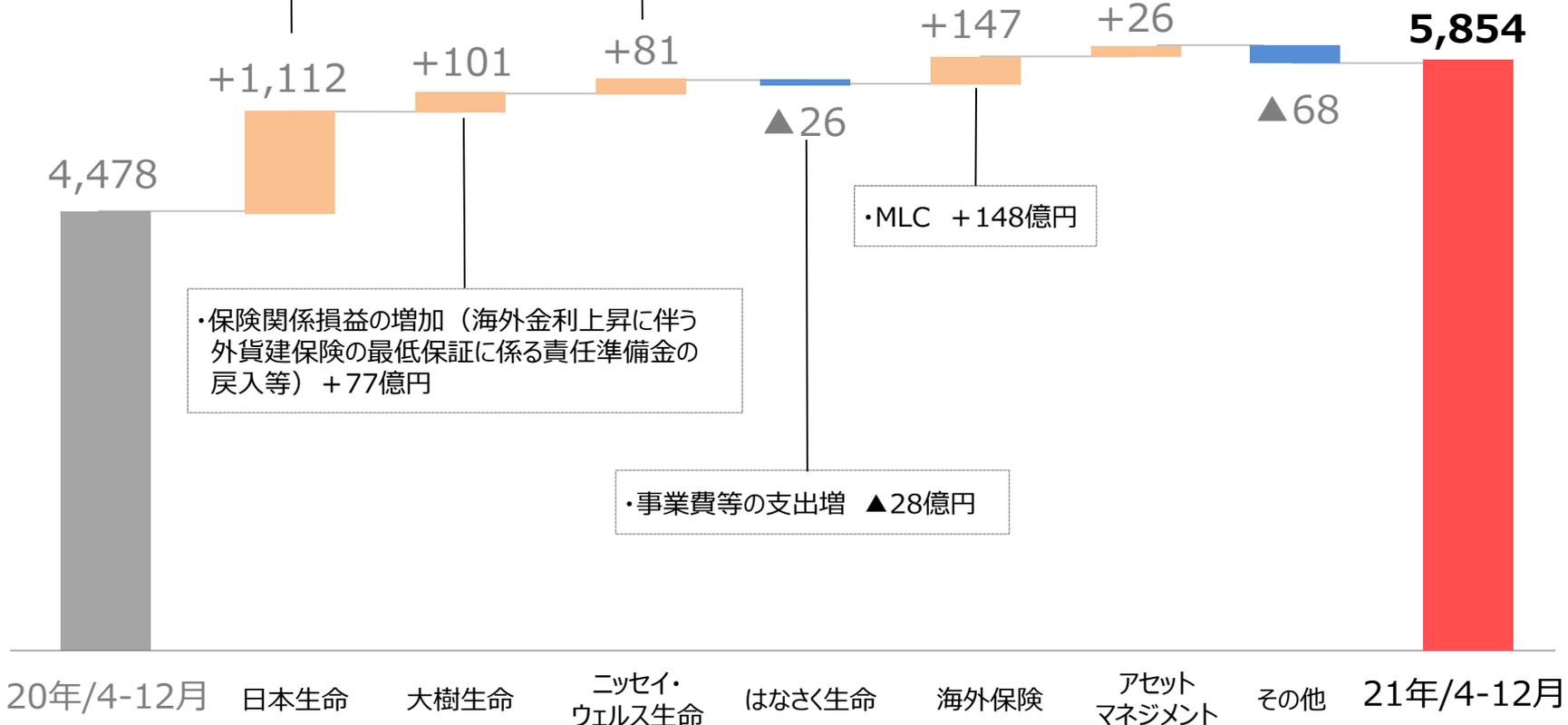
・ニッセイアセット +21億円
・NAMインディア +13億円

・外国証券配当の増加等 +76億円

・保険関係損益の増加（海外金利上昇に伴う外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の戻入等）+77億円

・事業費等の支出増 ▲28億円

・MLC +148億円

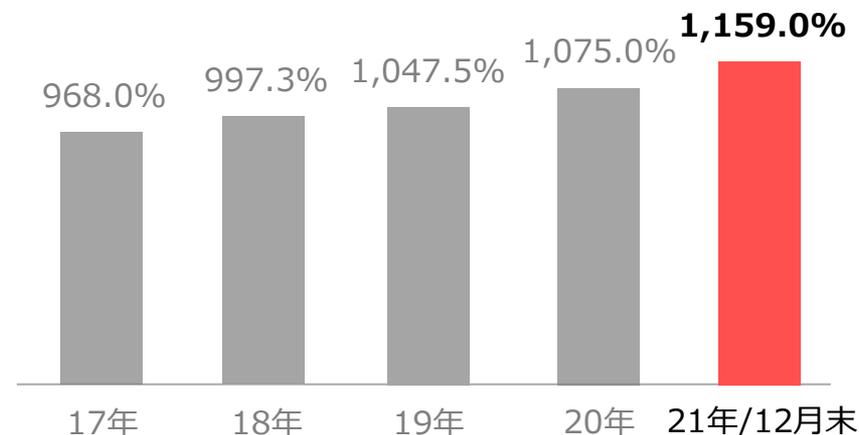


※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出
 ※ その他は配当消去の増減
 ※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント

⑤ 健全性

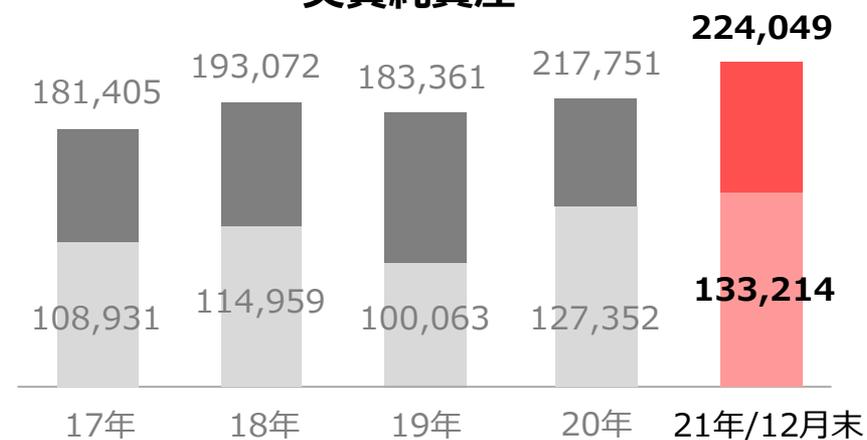
- ソルベンシー・マージン比率は、劣後債務調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、対20年度で増加。
- 実質純資産は、自己資本の着実な積み増しに加え、有価証券の含み益の増加により、対20年度で増加。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



 有価証券含み損益

※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、対20年4-12月で増加。
- 四半期純剰余は、対20年4-12月で増加。

(単位：億円)

	2021年 4-12月	対20年 4-12月
経常収益	60,191	+3.2%
保険料等収入	40,230	+5.9%
資産運用収益	18,086	▲1.8%
経常費用	54,336	▲0.7%
保険金等支払金	33,790	+1.9%
資産運用費用	2,020	▲17.5%
事業費	5,965	+2.5%
経常利益	5,854	+62.0%
(基礎利益)	5,854	+30.7%
特別損益	▲1,782	▲59.5%
四半期純剰余(利益)	3,139	+49.1%

貸借対照表

- 総資産・負債ともに、対21年3月末で増加。
- 純資産は、対21年3月末で増加。

(単位：億円)

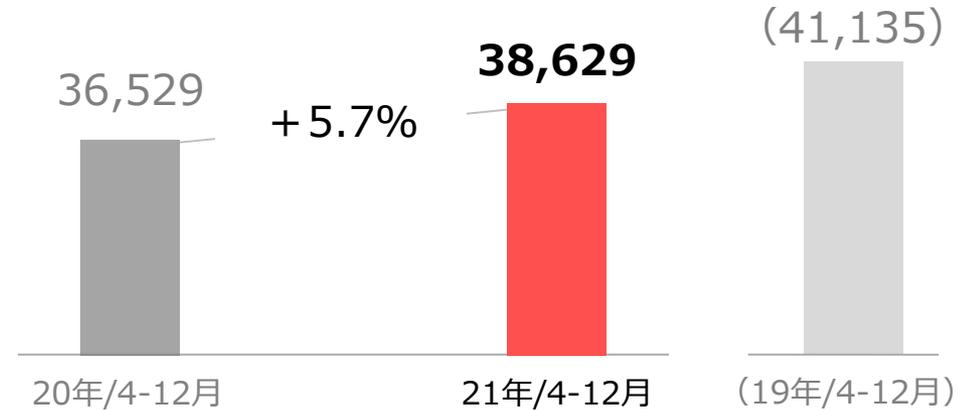
	2021年 12月末	対21年 3月末
総資産	878,475	+2.6%
うち有価証券	732,100	+3.5%
うち貸付金	83,961	▲0.3%
うち有形固定資産	19,247	▲0.8%
負債	787,768	+2.6%
うち保険契約準備金	693,208	+1.5%
うち責任準備金	679,187	+1.5%
うち価格変動準備金	17,743	+10.2%
純資産	90,706	+2.9%

① 保険料等収入

- 国内における保険料等収入は、コロナ禍で大幅に減少していた反動等を受け、対20年4-12月で増収。
- 一方、対19年4-12月では、海外金利が19年度の水準と比較して低位で推移したため、外貨建保険の販売減少に伴う銀行窓販チャネル等の減少によりマイナス。

保険料等収入（国内計）

(単位：億円)



	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月
保険料等収入（国内計）	38,629	+5.7%	▲6.1%
うち個人保険・個人年金保険	27,328	+5.7%	▲6.5%
営業職員チャネル	20,205	+0.7%	▲2.3%
代理店チャネル	3,017	+11.6%	▲5.7%
銀行窓販チャネル	4,105	+33.1%	▲23.0%
うち団体保険	2,099	+2.6%	+4.3%
うち団体年金保険	8,383	+5.1%	▲2.4%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 国内の個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は、対20年4-12月で増加となったものの、コロナ禍前の対19年4-12月では減少。
- 営業職員チャネルや銀行窓販チャネルは、対19年4-12月で減少となっており、コロナ禍前の水準には回復していない状況。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月	2021年 4-12月	対20年 4-12月	対19年 4-12月
国内計	2,783	+29.9%	▲10.4%	361	+21.2%	▲9.6%	71,530	+27.4%	+2.0%
営業職員チャネル	1,530	+27.4%	▲1.6%	343	+20.5%	▲9.9%	53,197	+14.8%	▲10.7%
代理店チャネル	426	+37.8%	+55.2%	13	+39.6%	+32.9%	13,977	+109.2%	+199.0%
銀行窓販チャネル	825	+30.8%	▲35.4%	4	+27.6%	▲44.7%	4,344	+38.5%	▲27.0%
日本生命	1,846	+26.1%	+0.2%	338	+19.7%	▲10.7%	57,976	+15.5%	▲6.1%
大樹生命	183	+41.2%	▲28.5%	10	+31.2%	▲29.5%	4,998	+30.2%	▲19.8%
ニッセイ・ウェルス生命	694	+35.0%	▲29.7%	2	+49.5%	+33.1%	2,832	+61.3%	+30.6%
はなさく生命	59	+73.1%	+191.2%	9	+82.6%	+172.0%	5,722	*	-

* 対比数値が僅少により、1000%を超える増加率

③ 保有契約

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2021年 12月末	対21年 3月末	2021年 12月末	対21年 3月末	2021年 12月末	対21年 3月末
国内計	45,208	+0.3%	3,756	+1.9%	1,748,316	▲0.8%
日本生命	37,381	▲0.0%	3,446	+1.8%	1,534,913	▲0.9%
大樹生命	5,079	▲1.3%	252	▲1.0%	173,964	▲3.8%
ニッセイ・ウェルス生命	2,608	+5.5%	35	+4.8%	32,806	+3.6%
はなさく生命	139	+62.5%	22	+62.5%	6,632	+518.8%

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2021年 12月末	対21年 3月末	2021年 12月末	対21年 3月末
国内計	1,106,995	+0.2%	185,584	+4.0%
日本生命	991,245	+0.3%	139,048	+1.9%
大樹生命	115,750	▲1.3%	7,924	+1.6%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(31,462億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分7,136億円)を含む

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2021年 4-12月
死亡保険金		約1,460件 約127.5億円
	災害保険金	約230件 約14.9億円

■ 給付金のお支払い

		2021年 4-12月
入院給付金		約70,820件 約105.0億円
	みなし入院	約57,980件 約85.0億円

【参考】2020年度の新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金について

■ 保険金のお支払い

		2020年度
死亡保険金		約790件 約84.9億円
	災害保険金	約140件 約9.3億円

■ 給付金のお支払い

		2020年度
入院給付金		約15,580件 約21.1億円
	みなし入院	約8,570件 約11.0億円

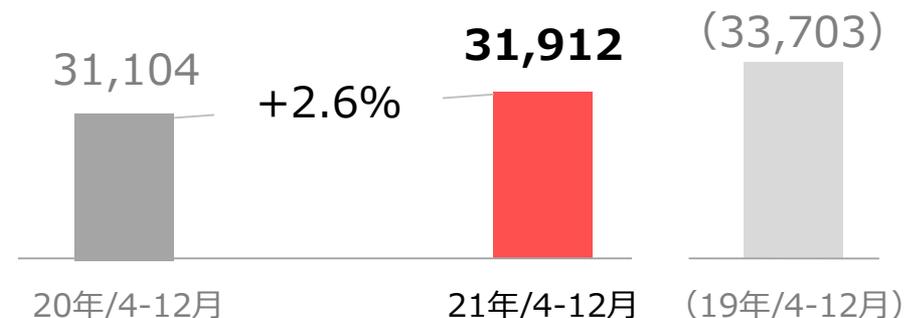
【参考】
グループ各社の概況

【参考】 日本生命（単体）：収支

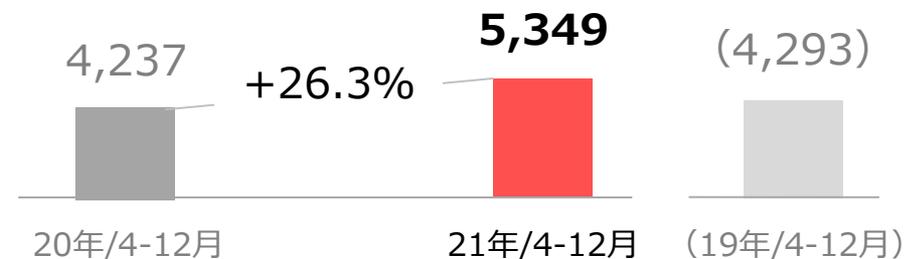
- 日本生命単体は、対20年4-12月で増収・増益。
- 保険料等収入は、銀行窓販チャネルの販売増加および団体年金の増加により増収となったものの、対19年4-12月では減収。
- 基礎利益は、企業業績の回復による株式配当金および投信分配金の増加により増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



【参考】 日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、対20年4-12月で増加。
- 資産運用収益は、株式配当金および投信分配金の増加を受けた利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、金融派生商品費用の減少により減少。

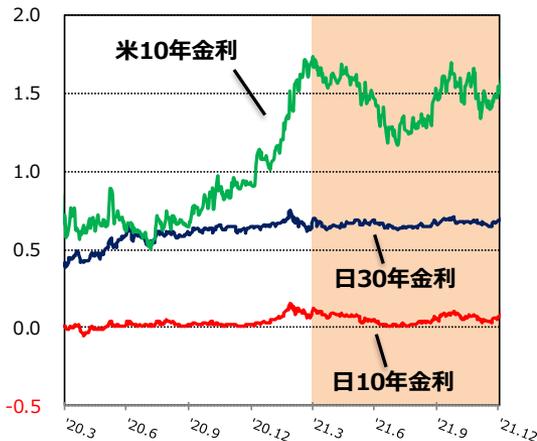
資産運用収支（一般勘定）

（単位：億円）

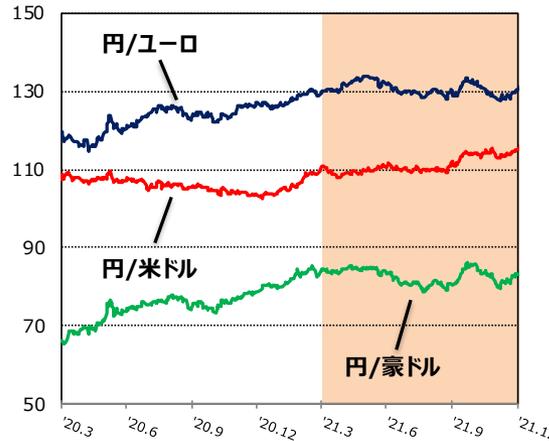
	2021年 4-12月	対20年 4-12月
資産運用収益	15,318	+ 878
うち利息及び配当金等収入	10,960	+ 1,289
うち有価証券売却益	4,090	▲ 499
資産運用費用	1,690	▲ 466
うち有価証券売却損	612	+ 223
うち有価証券評価損	69	▲ 231
うち金融派生商品費用	129	▲ 280
資産運用収支	13,627	+ 1,345

マーケット状況

（単位：％）



（単位：円）



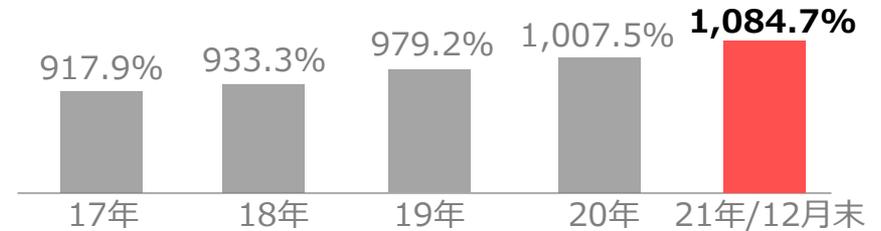
（単位：pt）



【参考】 日本生命（単体）：健全性

- ソルベンシー・マージン比率は、劣後債務調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、対20年度で増加。
- 有価証券の含み益は、海外株価の上昇や円安による外国証券の含み益の増加を主因に対20年度で増加。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

	2021年 12月末	対21年 3月末
有価証券	126,855	+ 3,705
公社債	30,185	▲ 1,265
国内株式	58,037	▲ 604
外国証券	36,335	+ 5,386
その他	2,296	+ 188

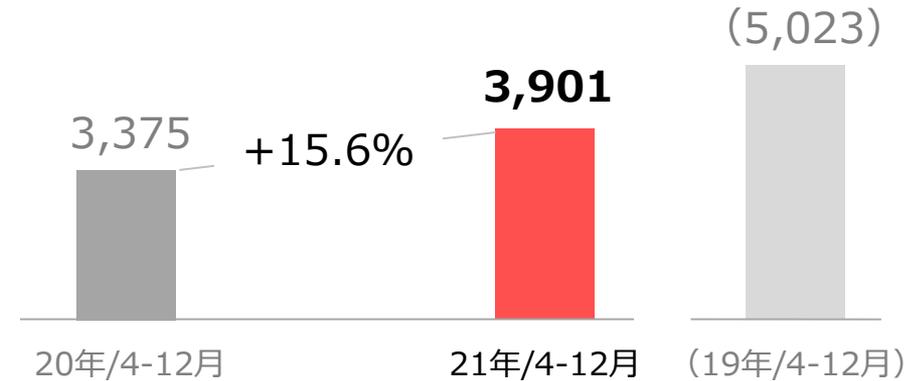
※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

【参考】大樹生命

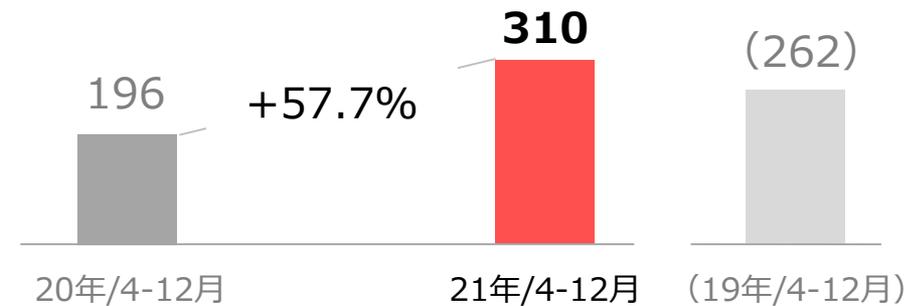
- 大樹生命は、対20年4-12月で増収・増益。
- 保険料等収入は、海外金利の上昇による一時払外貨建養老保険の販売増加を主因に増収となったものの、対19年4-12月では減収。
- 基礎利益は、海外金利の上昇に伴う外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の戻入により、保険関係損益が増加したことを主因に増益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



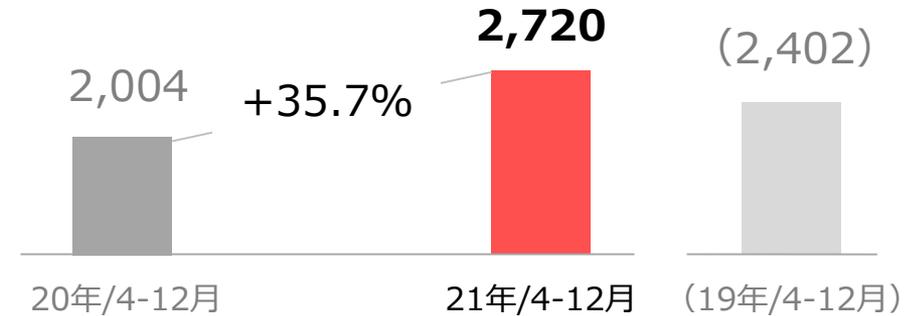
※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

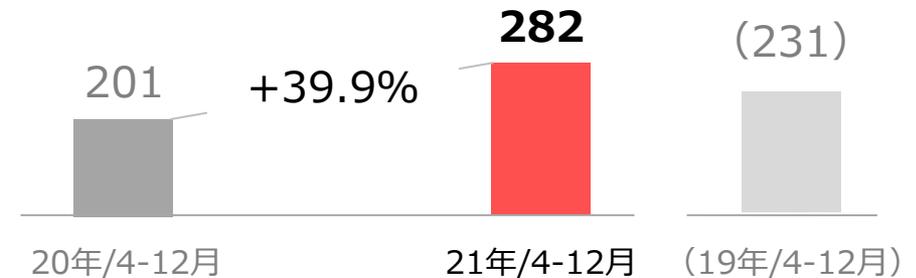
- ニッセイ・ウェルス生命は、対20年4-12月で増収・増益。
- 保険料等収入は、米ドル建商品の販売が増加したことを主因に増収。
- 基礎利益は、外国証券配当等により増益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



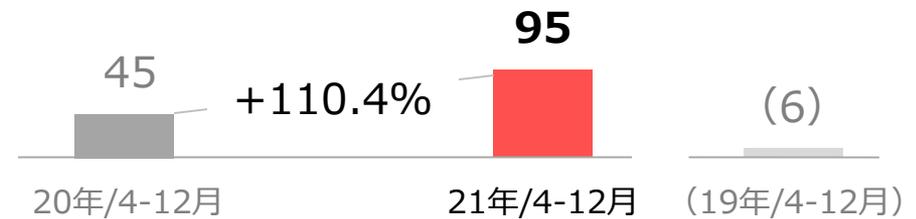
※ 単体の数値を記載

【参考】 はなさく生命

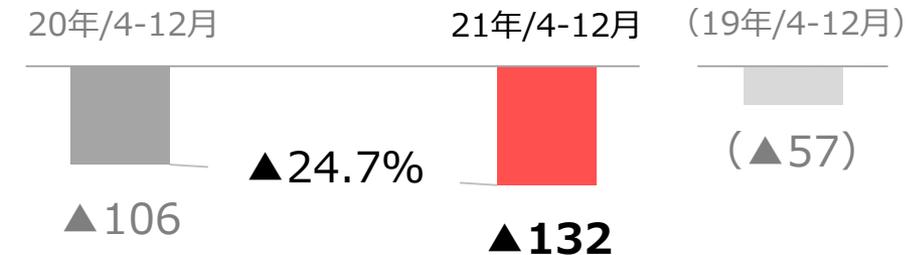
- はなさく生命は、対20年4-12月で増収・減益。
- 保険料等収入は、保有契約の着実な拡大に伴い、増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



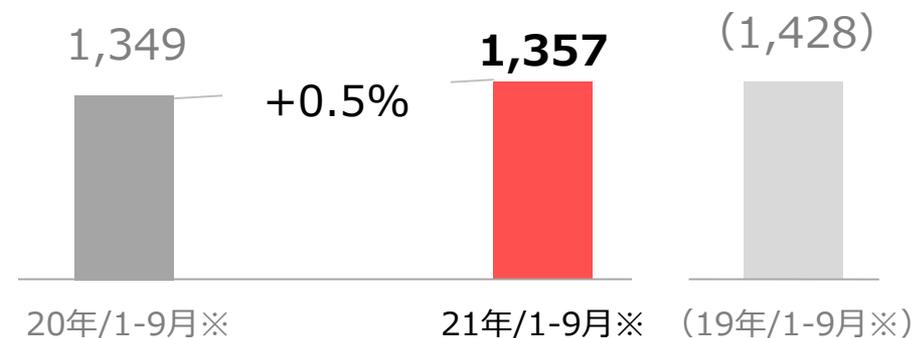
※ 単体の数値を記載

【参考】 MLC

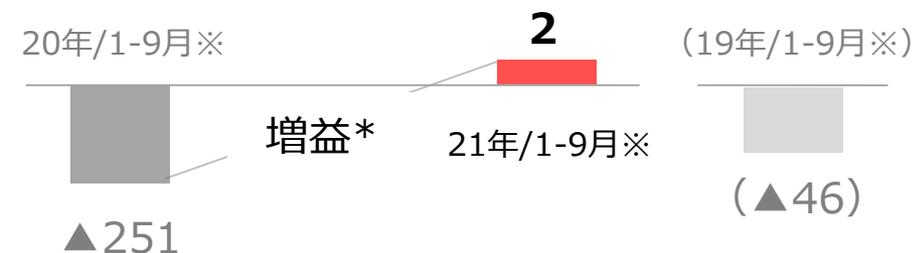
(単位：百万豪ドル)

- MLCは、対20年1-9月で増収・増益。
- 収入保険料は、団体保険・銀行窓販領域が減少した一方、個人保険領域における値上げの効果もあり、ほぼ横ばい。
- 基礎利益は、個人保険の収支改善を主因に増益。

収入保険料



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 第3四半期決算では1-9月期を連結反映

* 前年数値がマイナス、当年数値がプラスにより、増加率算出不可